2 こんなときは

エアステーションの設定変更や、いろいろな使い方について説明しています。

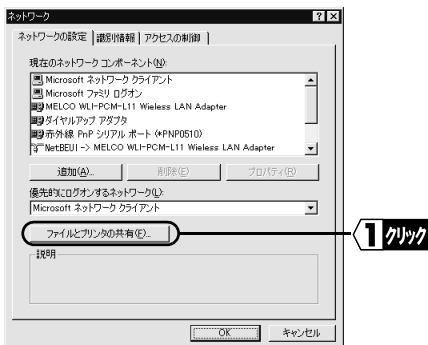
他のパソコンと通信をする

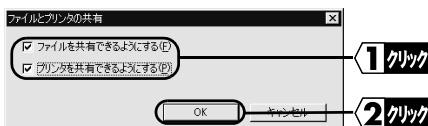
エアステーションの内蔵モデムを使用してインターネット接続ができる場合は、以下の手順で他のパソコンと通信をすることができます。

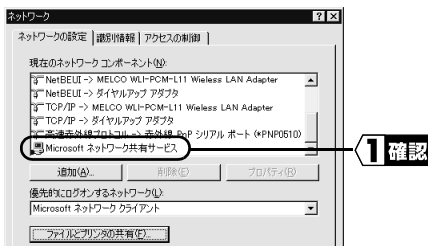
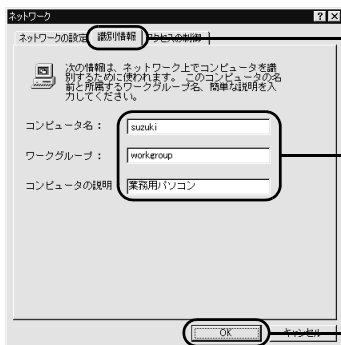
ネットワークの設定

1 [スタート] - [設定] - [コントロールパネル] を選択します。

2 [コントロールパネル] 内の [ネットワーク] アイコンをダブルクリックします。

3 [ファイルとプリンタの共有] をクリックします。

メモ Windows98 をお使いのかたは、「優先的にログオンするネットワーク」が「Microsoft ネットワーククライアント」になっていることを確認します。

4 [ファイルを共有できるようにする] および [プリンタを共有できるようにする] のチェックボックスをクリックして ON にし、[OK] をクリックします。

5 [Microsoft ネットワーク共有サービス] が追加されます。

6

［ 識別情報 ］タブ（Windows95 の場合は、「ユーザー情報」タブ ）をクリックして、［ コンピュータ名 ］、［ ワークグループ ］、および ［ コンピュータの説明 ］を確認し、[OK] をクリックします。

メモ ［ コンピュータ名 ］、［ ワークグループ ］には、半角英数字を入力することを推奨します。

注意 **一部の漢字やピリオド（.）などの特殊文字が含まれているとネットワークに接続できない場合があります。**

注意 **ワークグループ名は、ネットワークで接続する全てのパソコンに同じ名前を設定してください。**

参照 ［ コンピュータ名 ］、［ ワークグループ ］、［ コンピュータの説明 ］の詳細説明については、「第６章 用語集」の「■ Windows98 の識別情報（Windows95 の場合はユーザー情報 ）画面」（P75）を参照してください。

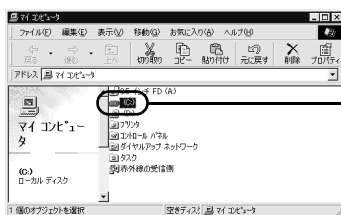
7 「今すぐ再起動しますか?」と表示されますので、［ はい ］をクリックします。

次へ 「パソコンの共有設定」（P27）へ進みます。

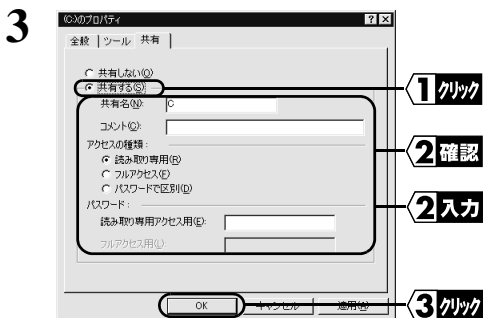
パソコンの共有設定

ドライブやフォルダの共有を設定します。ここでは、［ ﾏｲ ｺﾝﾋﾟｭｰﾀ ］の中の C ドライブを共有するときの手順を例に説明します。

1 デスクトップ上の ［ ﾏｲ ｺﾝﾋﾟｭｰﾀ ］アイコンをダブルクリックします。

2

Cドライブのアイコンをマウスの右ボタンでクリックし、メニューから［ 共有 ］を選択します。

次頁へ続く

3

［ 共有する ］のオプションボタンをクリックし、「共有名」「コメント」「アクセス権の種類」「パスワード」を確認または変更し、［OK］をクリックします。

▶参照 「共有名」、「コメント」、「アクセス権の種類」、「パスワード」の詳細説明については、「第６章 用語集」の「■ Windows98/95の共有設定画面」(P74)を参照してください。

4 **Cドライブのアイコンが以下のようになります。**

↘次へ 「他のパソコンとの通信」(P28)へ進みます。

他のパソコンとの通信

ネットワークへの接続確認が完了したら、他のパソコン(無線LANパソコン、または有線LAN上のネットワークのパソコン)と実際に通信してみましょう。
Windows98の画面を用いて説明します。

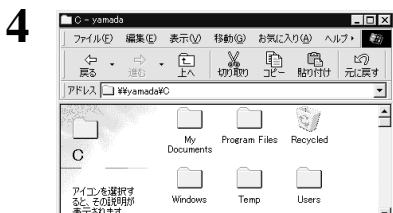
1 **デスクトップ上の［ﾈｯﾄﾜｰｸ ｺﾝﾋﾟｭｰﾀ］アイコンをダブルクリックします。**
接続されているパソコンが表示されます。

2 **通信したいパソコンをダブルクリックします。**

▶参照 通信したいパソコンが表示されないときは、「第３章 困ったときは」の「有線LAN上のパソコンと接続できません」(P59)を参照してください。

3

「パソコンの共有設定」(P27)で、設定されたドライブが表示されます。
通信したいドライブをダブルクリックします。

4

ドライブの中身が表示され、アクセスが可能になります。

↘次へ 本製品を装着したパソコンから、無線LANまたは有線LAN上のパソコンへの接続が完了しました。無線LANと有線LANを使用した快適な環境でパソコンをお使いください。

エアステーションの設定画面を表示する

エアステーションの設定画面は以下の手順で表示できます。

1 「第1章 有線LANと無線LAN間で通信する」の「エアステーションマネージャのインストール」(P12)を参照して、エアステーションマネージャをインストールします。

2 [スタート]－[プログラム]－[MELCO AirStation]－[エアステーションマネージャ]を選択します。

3

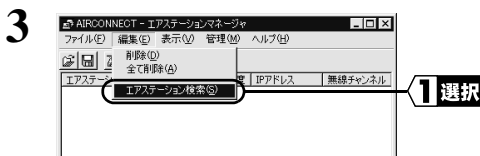
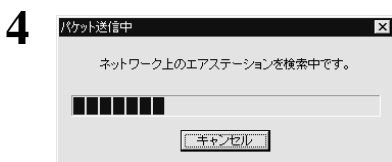
［編集］－［エアステーション検索］を選択します。

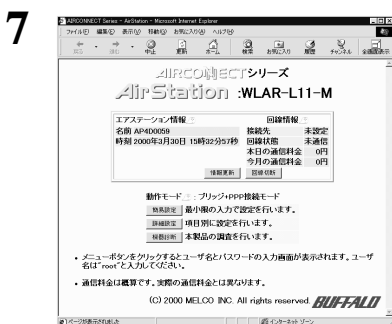
4

エアステーションの検索が始まります。

5

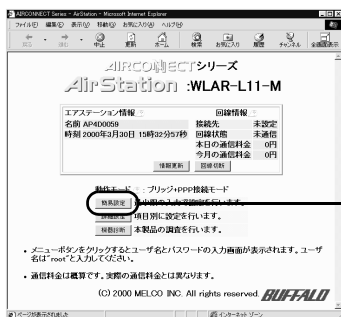
エアステーションが表示されます。

6

エアステーションを選択して、［管理］－［エアステーション設定］を選択します。

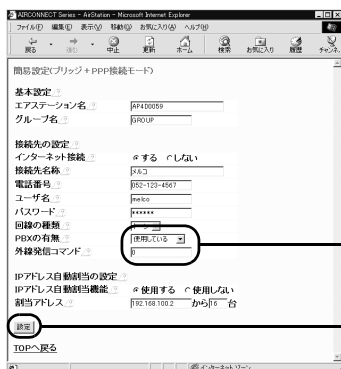
7

WEBブラウザが起動して、設定画面が表示されます。

構内交換機（PBX）を使用している環境でインターネットへ接続する

構内交換機を使用している環境では、以下の手順で設定を変更してください。

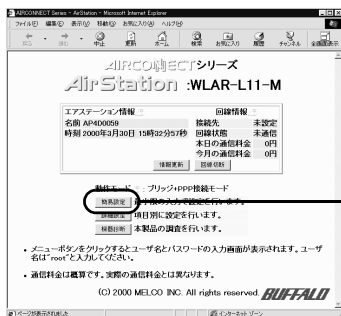
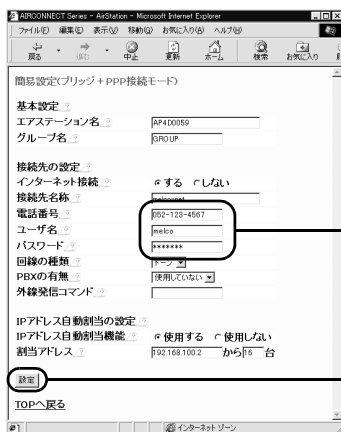
1 **「エアステーションの設定画面を表示する」(P29)を参照して、エアステーションの設定画面を表示します。**

2 **［簡易設定］をクリックします。**

3 **以下の設定をおこない、［設定］をクリックします。**

PBX の有無　　　：使用している
外線発信コマンド：0（外線発信番号が「0」の場合）

以後は画面の指示に従ってください。

プロバイダの接続先設定を変更する

プロバイダのアクセスポイントなどの接続先の変更は、以下の手順でおこなってください。

1 「エアステーションの設定画面を表示する」(P29)を参照して、エアステーションの設定画面を表示します。

2 ［簡易設定］をクリックします。

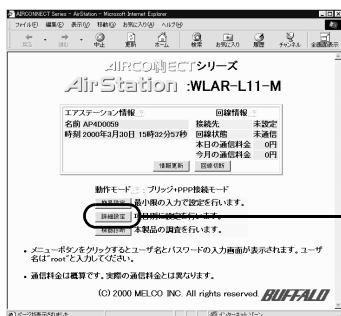
3 「電話番号」/「ユーザ名」/「パスワード」欄に新しい設定をおこない、［設定］をクリックします。

以後は画面の指示に従ってください。

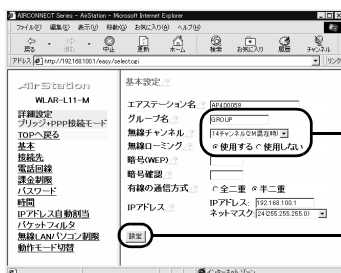
2
こんなときは

ローミング機能を有効／無効にする

ローミング機能を使用すると、部屋から部屋への移動の際、エアステーションの接続設定をする手間なく、自動的にエアステーションを切り換えることができます。
ローミング機能の設定は、以下の手順でおこないます。

1 「第2章 こんなときは」の「エアステーションの設定画面を表示する」(P29) を参照して、エアステーションの設定画面を表示します。

2 ［詳細設定］をクリックします。

3 以下の設定をおこない、［設定］をクリックします。

グループ名　　：無線ローミングをおこなうエアステーションすべてに同じグループ名を入力します。
無線ローミング ：「使用する」

以後は画面の指示に従ってください。

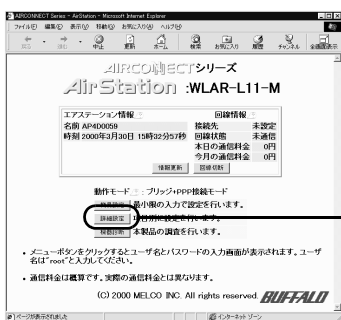
無線 LAN パソコンからの接続を制限する

無線 LAN パソコンからエアステーションへの接続を制限するには、以下の手順で設定をおこなってください。この設定をおこなうと登録した無線 LAN パソコン以外は、有線 LAN 上のパソコンと通信できなくなります。

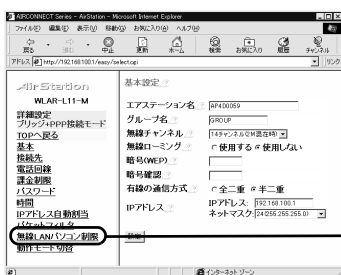
設定手順

⚠注意　この設定は、必ず有線 LAN 上のパソコンからおこなってください。

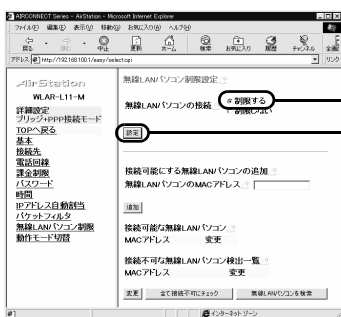
1　「第2章 こんなときは」の「エアステーションの設定画面を表示する」(P29)を参照して、エアステーションの設定画面を表示します。

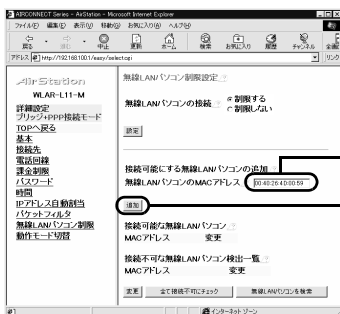
2

［詳細設定］をクリックします。

3

「無線 LAN パソコン制限」をクリックします。

4

「無線 LAN パソコンの接続」欄で「制限する」を選択して、［設定］をクリックします。

メモ　無線 LAN パソコンでおこなった場合、［設定］をクリックした直後からエアステーションへ接続できなくなります。この場合は、「エアステーションの設定を出荷時設定に戻すときは」(P48) を参照して出荷時設定に戻してください。

次頁へ続く

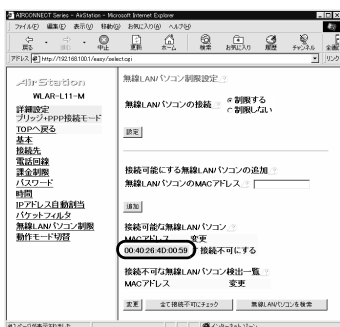
5　「設定を完了しました」と表示されるので、「戻る」をクリックします。

6 「無線 LAN パソコンの MAC アドレス」欄に接続可能にする無線 LAN パソコンの MAC アドレスを入力して、［追加］をクリックします。

メモ

・無線 LAN パソコンの MAC アドレスは、無線 LAN パソコンに添付のマニュアルを参照してください。

・MAC アドレスを入力するときは、2桁ずつコロン（:）で区切って入力してください。

メモ 「接続不可な無線 LAN パソコン検出一覧」に接続可能にしたい無線 LAN カードが表示されているときは、該当する MAC アドレスの「接続可能にする」のチェックボックスにチェックして、［変更］をクリックしてください。

7 「MAC アドレスを追加しました」と表示されますので、［戻る］をクリックします。

8 「接続可能な無線 LAN パソコン」欄に、追加した MAC アドレスが表示されます。

メモ 登録できる MAC アドレスは 256 個までです。

以上で、「接続可能な無線 LAN パソコン」欄に登録した無線 LAN パソコン以外は、有線 LAN 上のパソコンと通信できなくなりました。

メモ 登録した MAC アドレスのパソコンを使用不可するときは、「接続可能な無線 LAN パソコン」欄で該当する MAC アドレスの「接続不可にする」のチェックボックスにチェックして、［変更］をクリックします

WEP(暗号化)機能でセキュリティを強化したいときは

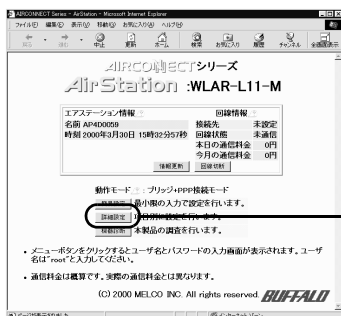
WEP機能で無線パケットを暗号化することにより、外部からの無線パケット解析を防ぐことができます。以下の手順でエアステーションを設定します。

メモ　WEPを設定した場合は、弊社製2M無線LANカード（WLI-PCM）やMacintoshと通信することができません。

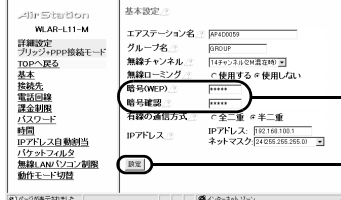
設定手順

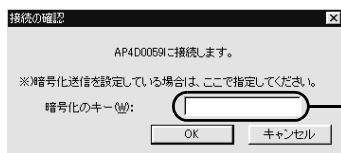
1　「第2章 こんなときは」の「エアステーションの設定画面を表示する」(P29)を参照して、エアステーションの設定画面を表示します。

2

［詳細設定］をクリックします。

3

「暗号（WEP）」欄に5桁の文字列（暗号キー）を入力します。また、「暗号確認」欄に再度同じ文字列を入力します。
入力後、［設定］ボタンをクリックします。

メモ　暗号キーは半角英数字およびアンダーバー”_”の5桁の文字列を入力してください。

4　「設定を完了しました」と表示されますので、ブラウザを閉じます。

メモ　WEPを設定したときは、クライアントマネージャからエアステーションへ接続する際に、「暗号キー」を入力してください。暗号キーを入力しない場合は、エアステーションと通信することができません。

複数のエアステーションをグループ分けする

エアステーションが１つのフロアに複数台ある環境で無線 LAN パソコンが通信していると、通信速度が遅くなることがあります。これは、それぞれのエアステーションが同じ周波数の電波を使用しているためです。この場合は、それぞれの無線 LAN ネットワークで、異なる周波数（無線チャンネル）を使用するように設定する（グループ分け）ことで、他の無線 LAN ネットワークに関係なく通信することができます。
無線チャンネルを変更してグループ分けをする場合は、以下の手順でおこないます。

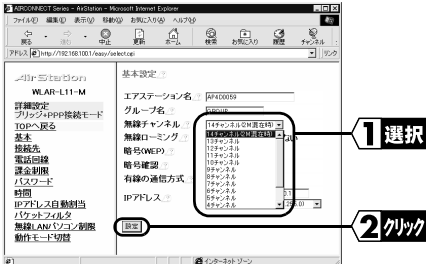
設定手順

1 「第2章 こんなときは」の「エアステーションの設定画面を表示する」(P29) を参照して、エアステーションの設定画面を表示します。

2

［詳細設定］をクリックします。

3

「無線チャンネル」欄で、エアステーションに設定する無線チャンネルを選択して、［設定］ボタンをクリックします。

4 「設定を完了しました」と表示されますので、ブラウザを閉じます。

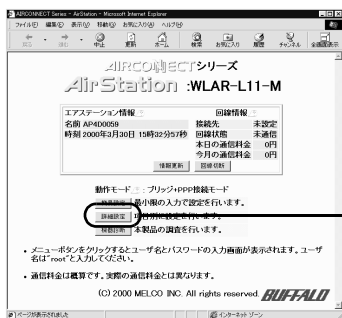
メモ

・隣り合ったチャンネルなど近い周波数では互いに干渉してしまうことがあります。複数のチャンネルに分けて使用する場合は、2 ～3 チャンネル間隔をあけて使用してください。（無線チャンネルを変更して使用する場合、他の無線設備と電波干渉をおこすことがあります。）
・弊社製 2M 無線 LAN カード（WLI-PCM）と通信するときは、無線チャンネルは必ず「14 チャンネル」に設定してください。

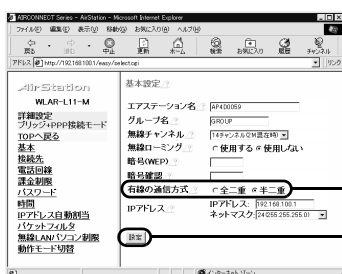
伝送モードを設定するには

エアステーションの伝送モードは、以下の手順で設定します。

1 「第2章 こんなときは」の「エアステーションの設定画面を表示する」(P29)を参照して、エアステーションの設定画面を表示します。

2

［詳細設定］をクリックします。

3

「有線の通信方式」欄で、全二重または半二重を選択して、［設定］をクリックします。

メモ　エアステーションの伝送モードを全二重に設定した場合は、接続するハブの伝送モードも必ず全二重に設定してください。接続するハブの伝送モードが自動認識や半二重に設定されているときに、エアステーションの伝送モードが全二重に設定されていると通信できません。

以後は、画面の指示に従ってください。

AirMac 対応パソコンからエアステーションに接続するには

準備するもの

AirMac 対応パソコンが Windows パソコンとファイル共有するときは、以下のソフトウェアが必要です。
・ファイル共有をサポートするソフトウェア（ウィニングラン・ソフトウェア株式会社製 DAVE 等）

メモ　共有させる設定方法については、お使いのソフトウェアに添付のマニュアルを参照してください。

設定手順

AirMac 対応パソコンからエアステーションに接続するときは、以下の手順でおこなってください。

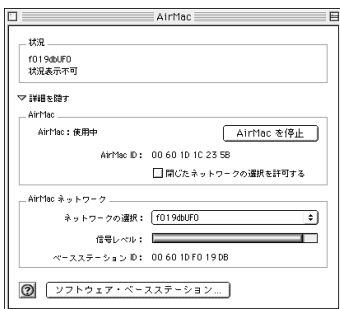
メモ　作業をおこなう前に、AirMac 対応パソコンに AirMac ソフトウェアをインストールして、AirMac が使用できることを確認してください。（AirMac ソフトウェアのインストール手順は、AirMac 添付のマニュアルを参照してください。）

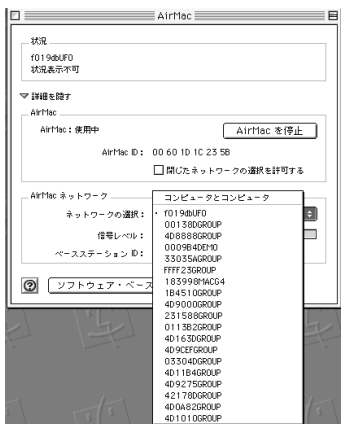
1 設定用パソコン（Windows パソコン）からエアステーションの設定画面を表示します。

▶参照　「第２章 こんなときは」の「エアステーションの設定画面を表示する」(P29) を参照してください。

2 [機器診断] をクリックします。

3 「ESS-ID」欄に表示されている、エアステーションの ESS-ID をメモします。

4

AirMac 対応パソコンを起動して、「メニューバー／アップルメニュー」－「AirMac」を選択します。
AirMac の設定ツールが起動します。

5

「AirMac ネットワーク」の「ネットワークの選択」欄のプルダウンメニューから手順 3 で確認したエアステーションのESS-IDを選択してください。

無線 LAN カードのドライバをバージョンアップする

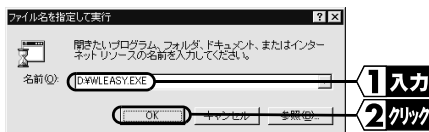
すでに弊社製無線 LAN カード（WLI-PCM-L11/WLI-PCM）でネットワークを構築されている方で、弊社エアステーションを使用する方は、以下の手順で無線 LAN カードのドライバを再インストールしてください。

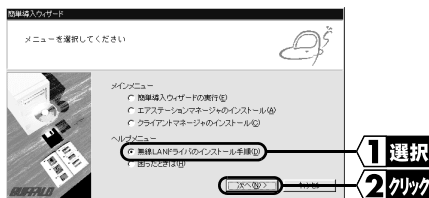
無線 LAN カードドライバの再インストール

以下の手順で表示されたインストール手順を参照してドライバの再インストールをおこなってください。
「AIRCONNECT シリーズドライバ CD」を使用してドライバをインストールした場合は、再インストールする必要はありません。

1 エアステーションに添付の「AIRCONNECT シリーズドライバ CD」を CD-ROM ドライブへ挿入します。

2 ［スタート］－［ファイル名を指定して実行］を選択します。

3

「D:\WLEASY.EXE」（CD-ROM ドライブが D ドライブの場合）と入力し、［OK］をクリックします。

4

「無線 LAN ドライバのインストール手順」を選択して、［次へ］をクリックします。

5 表示されたインストール手順に従って、無線 LAN カードのドライバをインストールしてください。

課金制限設定を変更する

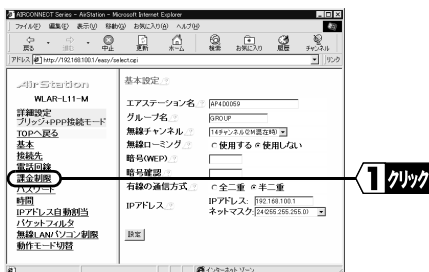
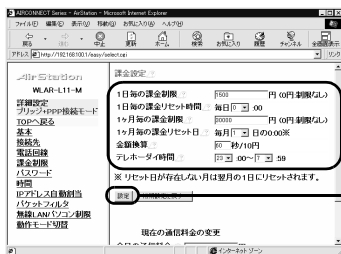
⚠注意　課金制限機能は、一定期間内で通信料金の上限を設定し、通信料金が上限を超えると通信を自動的に切断する機能です。エアステーションをご使用になる上で、システムに合わない設定をおこなうと、予想した以上の通信料金が発生する可能性があります。 このような過剰な課金を防ぐために、必ず、課金制限機能を有効にしてください。

エアステーションには、出荷時設定で過剰な課金が発生しにくくなるように設定されています。十分設定内容をご理解の上、以下の手順で設定を調整してください。

1　「第2章 こんなときは」の「エアステーションの設定画面を表示する」(P29)を参照して、エアステーションの設定画面を表示します。

2　［詳細設定］をクリックします。

3　「課金制限」をクリックします。

4

課金制限設定を変更して、［設定］をクリックします。

１日毎の課金制限：
　１日に使用できる通信料金の上限を設定します。

１日毎の課金リセット時間：
　１日毎の通信料金の計算をリセットする時間を設定します。

1ヶ月毎の課金制限：
　1ヶ月に使用できる通信料金の上限を設定します。

1ヶ月毎の課金リセット日：
　1ヶ月毎の通信料金の計算をリセットする日付を設定します。

金額換算：
　通信料金の計算時に使用する換算値を入力します。10 円あたりの通信時間を入力します。

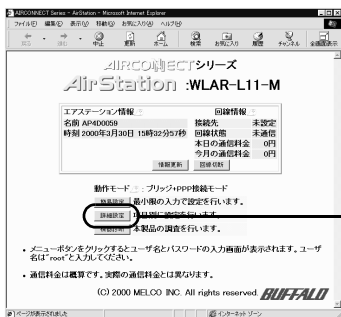
テレホーダイ時間：
　テレホーダイ時の自動切断時間を適用する時間を設定します。

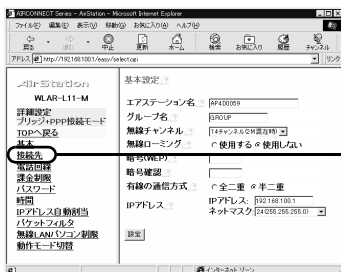
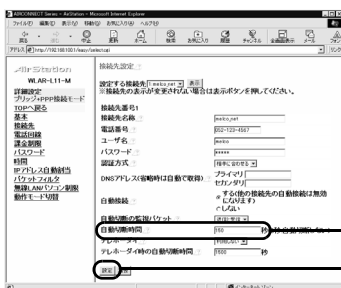
メモ　課金金額は、通信時間と金額換算により計算されます。従って、実際の通信料金と異なることがあります。

以後は画面の指示に従ってください。

電話回線の自動切断時間を変更する

インターネットへ接続中は、無通信時間が150秒間（出荷時設定）続くと、自動的に電話回線が切れるようになっています。 自動的に電話回線が切断されるまでの時間を変更する場合は、以下の手順で設定を変更してください。

1 「第2章　こんなときは」の「エアステーションの設定画面を表示する」(P29)して、エアステーションの設定画面を表示します。

2 ［詳細設定］をクリックします。

3 「接続先」をクリックします。

4 「自動切断時間」欄に自動切断時間を入力して、［設定］をクリックします。

⚠注意　無線LAN/有線LANパソコンから回線側への送信パケットがなく、回線側から一方的にパケットを受信しつづけるような場合、「自動切断の監視パケット」を「送信のみ」（出荷時設定）に設定していると、通信途中に回線が切断されることがあります。 この場合は、「送信と受信」に設定を変更してください。
ただし、パケットフィルタの設定で「ブラウザの終了時に回線接続するのを防ぐ」が有効の場合に、「自動切断の監視パケット」を「送信と受信」に設定すると、ブラウザによって自動切断時間が設定した時間より約2分長くなることがあります。

以後は画面の指示に従ってください。

パケットフィルタの設定例

パケットフィルタの設定を変更する

パケットフィルタの設定で以下の３つの設定が可能です。

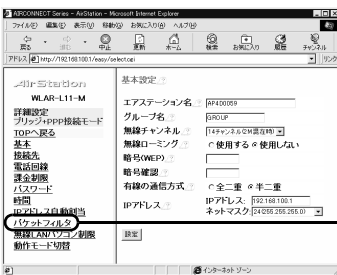
- **無線 LAN からの設定を禁止する**
- **ブラウザの終了時に回線接続するのを防ぐ（出荷時設定有効）**
- **NBT パケットのルーティングを禁止する（出荷時設定有効）**

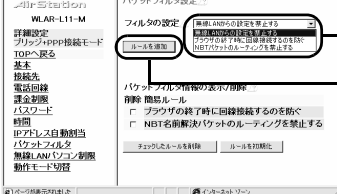
⚠注意　「ブラウザの終了時に回線接続するのを防ぐ」 の設定を無効にすると、ブラウザを閉じた際に、電話回線が自動的に接続されることがあります。

設定手順は以下の通りです。

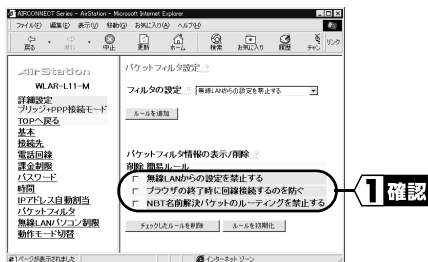
1　「第2章 こんなときは」の「エアステーションの設定画面を表示する」(P29) を参照して、エアステーションの設定画面を表示します。

［詳細設定］ をクリックします。

「パケットフィルタ」 をクリックします。

4

「フィルタ設定」 欄から、設定する項目を選択して、［ルールを追加］ をクリックします。

次頁へ続く

5 「パケットフィルタを登録しました」と表示されますので、［戻る］をクリックします。

6 追加したパケットフィルタが表示されます。

以上で設定完了です。

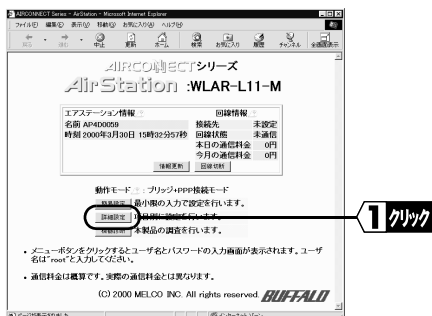
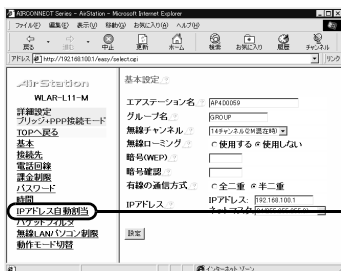
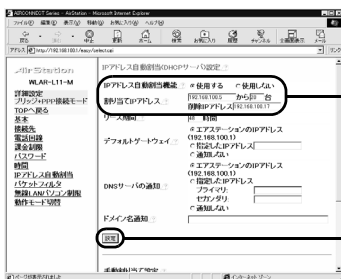
IP アドレス自動割当機能（DHCP サーバ）の設定例

以下の場合の設定例を説明します。
DHCP で割り当てるアドレス
192.168.100.5 ～ 192.168.100.24
上記の IP アドレスのうち除外するアドレス
192.168.100.17

注意 DHCP サーバ機能で割り当てる IP アドレスは、エアステーションの IP アドレスと同じネットワークアドレスとなるように設定してください。

設定手順

1 「第2章 こんなときは」の「エアステーションの設定画面を表示する」（P29）を参照して、エアステーションの設定画面を表示します。

2 ［詳細設定］をクリックします。

3 「IP アドレス自動割当」 をクリックします。

4 以下の設定を入力して、「設定」 ボタンをクリックします。

IP アドレス自動割当機能：
　「使用する」
割り当て IP アドレス：
　「192.168.100.5」から「20」台
削除 IP アドレス：
　「192.168.100.17」

メモ　エアステーションを使用してインターネットに接続する場合は、以下の項目も設定します。
デフォルトゲートウェイ：
　「エアステーションの IP アドレス」
DNS サーバ通知：
　プロバイダから指定されたDNSアドレスを入力します。

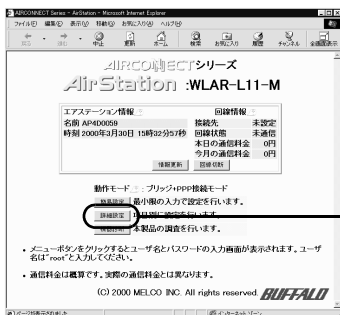
以上で設定完了です。

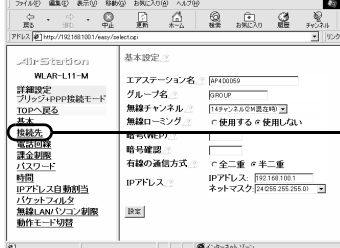
2

こんなときは

テレホーダイをお使いの場合の設定例

エアステーションでは、テレホーダイ時間内の回線切断時間を、個別に設定することができます。以下の手順で設定します。

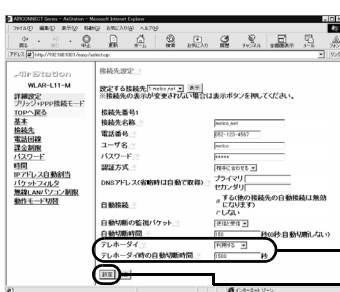
1 「第2章 こんなときは」の「エアステーションの設定画面を表示する」(P29)を参照して、エアステーションの設定画面を表示します。

2 ［詳細設定］をクリックします。

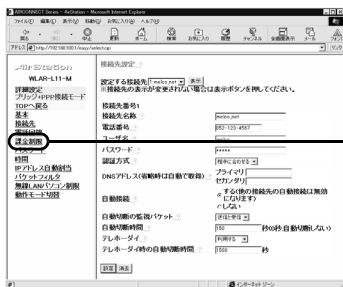
3 「接続先」をクリックします。

4 以下の設定をおこなって、［設定］ボタンをクリックします。

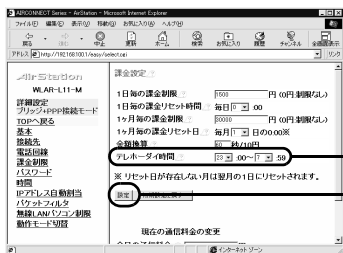
テレホーダイ：

　「利用する」

テレホーダイ時の自動切断時間：

　切断時間を入力します。（出荷時設定：1500 秒）

5 「設定を完了しました」と表示されますので、「戻る」をクリックします。

6

「課金制限」をクリックします。

7

「テレホーダイ時間」欄に手順４で設定した「テレホーダイ時の自動切断時間」を適用する時間を設定して、［設定］をクリックします。（出荷時設定：「23」：「00」～「7」：「59」）

8 **「設定を完了しました」と表示されますので、「戻る」をクリックします。**

以上で設定完了です。

エアステーションの IP アドレスを確認するには

以下の手順でエアステーションの IP アドレスを確認できます。

1 「第1章 有線LANと無線LAN間で通信する」の「エアステーションマネージャのインストール」(P12)を参照して、エアステーションマネージャをインストールします。

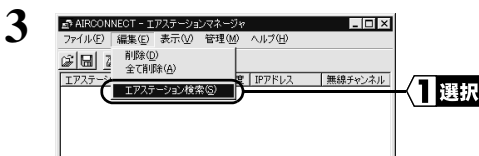
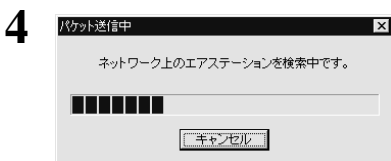
2 [スタート]－[プログラム]－[MELCO AirStation]－[エアステーションマネージャ]を選択します。

3

[編集] － [エアステーション検索] を選択します。

4

エアステーションの検索が始まります。

5

エアステーションの IP アドレスが表示されます。

「IP アドレス」 欄にエアステーションの IP アドレスが表示されます。

エアステーションの設定を出荷時設定に戻すときは

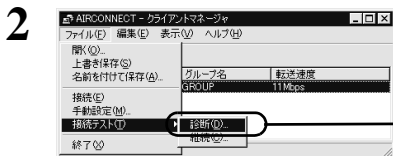
1 エアステーションの電源を ON にします。

2 エアステーションの背面にある工場出荷設定スイッチを3秒以上押しつづけると、DIAGランプが点滅します。点滅が消灯すると、出荷時設定にリセットされます。

メモ 工場出荷設定スイッチは、別紙「はじめにお読みください」の「パッケージ内容・各部の名称とはたらき」を参照してください。

電波状態を確認する

無線 LAN パソコンとエアステーション間の電波状態を確認するときは、以下の手順でおこなってください。

1 無線 LAN パソコンから、[スタート] - [プログラム] - [MELCO AIRCONNECT] - [クライアントマネージャ] を選択します。

2 [ファイル] - [接続テスト] - [診断] を選択します。

メモ　アンテナマーク (Y) のついているエアステーションの接続テストを行います。

AIRCONNECT - クライアントマネージャ
ファイル(F)　編集(E)　表示(V)　ヘルプ(H)
開く(O)...
上書き保存(S)
名前を付けて保存(A)...
接続(E)
手動設定(M)...
接続テスト(T)
終了(X)
診断(D)...
継続(C)...
グループ名　転送速度
GROUP　11Mbps
1 選択

3 接続状態を確認してください。

接続テスト
接続先エアステーション:　AP4D0059
送信パケット数:　34
受信パケット数:　33
接続状態:　97%
電波状態:　100%
終了

4 接続テスト結果が表示されます。

接続テスト結果
接続状態　電波状態
診断結果:　良好
再試行(R)　終了

2
こんなときは

接続テスト結果について

接続テスト結果は、接続状態と電波状態が表示されます。
各々の内容は、次表の通りです。

接続状態		電波状態	
	最適		最適
	良好		良好
	悪い		問題あり
	最悪		悪い
		圏外	通信不可

接続状態と電波状態の結果を総合的に判断して診断結果が表示されます。
良好：総合的に問題ありません。
不適：不安定な状態であることを示します。
診断結果が不適の場合は、以下の対策をしてください。
1. 無線 LAN パソコンをエアステーションに近づけます。（但し、30㎝ 以内に近づけないでください。）
2. エアステーションの位置を変更する。
3. エアステーションと無線 LAN パソコン間の見通しをよくします。
4. エアステーション、無線 LAN パソコンの近くに電子レンジ等の電波発生源がないことを確認します。

3 困ったときは

本製品を使用して発生する現象とその原因、対策方法について説明します。

エアステーション設定時

簡単導入ウィザード実行中に 「ネットワークアダプタがインストールされていません」 と表示される

原因
ネットワークアダプタのドライバがインストールされていない。

対策
ネットワークアダプタのマニュアルを参照して、ドライバのインストールをおこなってください。

▶参照 ドライバのインストール手順は、ネットワークアダプタに添付のマニュアルを参照してください。

簡単導入ウィザード実行中に 「ネットワークアダプタ設定に誤りがあります」 と表示される

原因
TCP/IP の設定が正常にされていない。

対策
TCP/IP が正常にインストール／設定されているか、確認してください。

内蔵モデムを使用してインターネットに接続する場合：
別冊「インターネット接続マニュアル」の「第２章 エアステーションの設定準備」の「TCP/IP プロトコルの設定」を参照してください。

有線 LAN －無線 LAN 間で通信をする場合：
「第１章 有線 LAN と無線 LAN で通信をする」の「TCP/IP プロトコルの設定」(P7) を参照してください。

簡単導入ウィザード実行中に「エアステーションが見つかりません」と表示される

原因①
MAC アドレスの入力が間違っている。（無線 LAN パソコンからエアステーションの設定をする場合）

対策①
エアステーションの MAC アドレスを確認して、再度入力してください。

▶参照 MAC アドレスは、「はじめにお読みください」の「各部の名称とはたらき」を参照してください。

メモ グループ名の出荷時設定は、「GROUP」です。初めて設定される方や、グループ名の変更をされていない方は、「GROUP」が入力されていることを確認してください。

原因②
ハブとエアステーションが接続されていない。（有線 LAN パソコン上のパソコンからエアステーションの設定をする場合）

対策②
- ハブとエアステーションが UTP ストレートケーブルで、確実に接続されているか確認してください。（「カチッ」と音がするまで差し込んでください。）
- エアステーションやパソコンなどとハブを接続するときは、UTP ストレートケーブルを使用します。

原因③
ケーブルが断線している。（有線 LAN パソコン上のパソコンからエアステーションの設定をする場合）

対策③
正常に通信できている他の UTP ケーブルを使用して、接続してみてください。

原因④
ハブが故障している。（有線 LAN パソコン上のパソコンからエアステーションの設定をする場合）

対策④
- エアステーションやハブのリンクランプが点灯しているか、確認してください。
- ハブの他のポートに接続してみてください。

原因⑤
接続しているハブと本製品の伝送モードがあっていない。（有線 LAN パソコン上のパソコンからエアステーションの設定をする場合）

対策⑤
接続するハブによっては、「Auto Negotiation」（自動認識）の設定でネットワークに正常に接続できないことがあります。この場合は、伝送モードを手動で設定する必要があります。「Auto Negotiation」以外の設定に変更してください。それでも正常に設定できないときで、ハブの伝送モードが変更できるときは、ハブの伝送モードも本製品と同じモードに手動で設定してください。
エアステーションの伝送モードを変更するときは、「第２章　こんなときは」の「伝送モードを設定するには」(P37)を参照してください。

設定画面が表示されません

原因①

- WEB ブラウザの設定でプロキシの設定がされていると、設定画面が表示されません。
- モデムを使用してダイヤルするように設定されている。

対策①

- プロキシサーバの存在するネットワーク環境でエアステーションの設定をするときは、WEB ブラウザのプロキシ設定を変更する必要があります。
- ブラウザの設定でダイヤルしない設定に変更する必要があります。

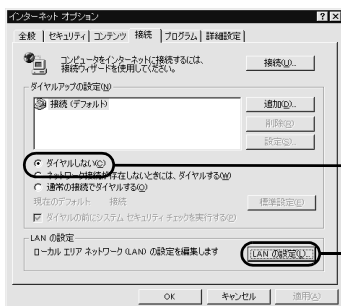
以下の手順で設定を行ってください。

■ Internet Explorer5.0 以降の場合

1 Internet Explorer を起動します。

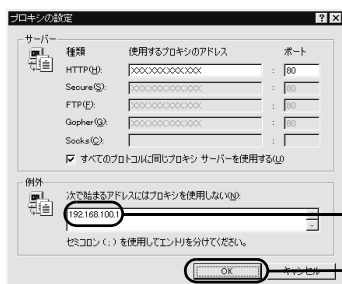
2 [ツール] - [インターネットオプション] を選択します。

3 [接続] をクリックします。

4

「ダイヤルしない」を選択してから [LAN の設定] をクリックします。

5

[詳細] をクリックします。

メモ 「プロキシサーバーを使用する」のチェックボックスがチェックされていないときは、ブラウザの設定は問題ありません。

6 「次で始まるアドレスにはプロキシを使用しない」欄に、エアステーションの IP アドレスを入力し、[OK] をクリックします。

メモ エアステーションの IP アドレスがわからないときは、エアステーションマネージャからエアステーションの検索をおこなってください。

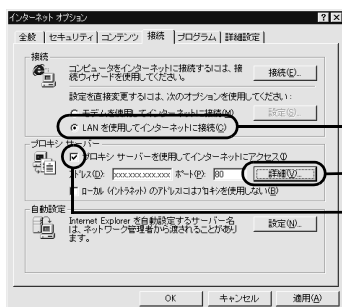
エアステーションマネージャは、「第１章 有線 LAN と無線 LAN 間で通信する」の「エアステーションマネージャのインストール」(P12) を参照してインストールしてください。

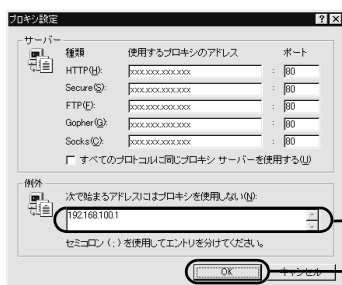
■ Internet Explorer4.0 の場合

1 Internet Explorer を起動します。

2 [表示] - [インターネットオプション] を選択します。

3 [接続] タブをクリックします。

4

「LAN を使用してインターネットに接続」を選択して、「プロキシサーバー」の [詳細] をクリックします。
「プロキシサーバーを使用してインターネットにアクセス」のチェックボックスがチェックされていなければ、ブラウザの設定は問題ありません。

5

「次ではじまるアドレスにはプロキシサーバを使用しない」欄に、エアステーションの IP アドレスを入力し、[OK] をクリックします。

メモ エアステーションの IP アドレスがわからないときは、エアステーションマネージャからエアステーションの検索をおこなってください。

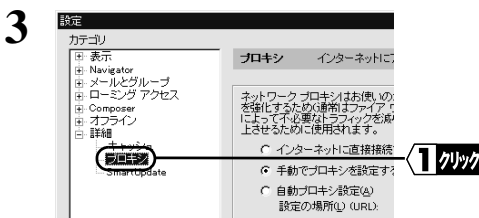
エアステーションマネージャは、「第１章 有線 LAN と無線 LAN 間で通信する」の「エアステーションマネージャのインストール」(P12) を参照してインストールしてください。

■ Netscape Navigator4.0 以降の場合

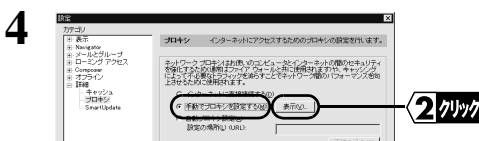
1 Netscape Navigator を起動します。

2

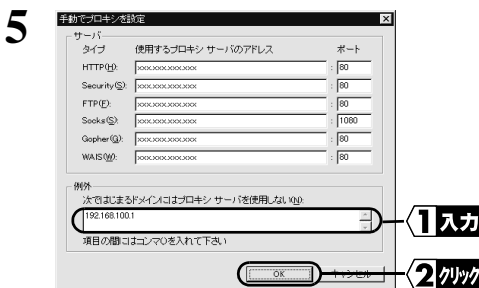
[編集]-[設定] を選択します。

3

カテゴリ欄の [プロキシ] をクリックします。

メモ　表示されていないときは、[詳細] の左の「＋」をクリックしてください。

4

「手動でプロキシを設定する」が選択されているときは、[表示] をクリックします。

メモ　「インターネットに直接接続する」または「自動プロキシ設定」が選択されている場合は、ブラウザの設定は問題ありません。

5

「次ではじまるドメインにはプロキシサーバを使用しない」欄に、エアステーションの IP アドレスを入力し、[OK] をクリックします。

メモ　エアステーションの IP アドレスがわからないときは、エアステーションマネージャからエアステーションの検索をおこなってください。

エアステーションマネージャは、「第１章 有線 LAN と無線 LAN 間で通信する」の「エアステーションマネージャのインストール」(P12) を参照してインストールしてください。

インターネット接続時

インターネットに接続できない

対策

インターネットに接続できないときは、以下のフローチャートに沿って、設定を確認してください。

本製品と有線 LAN パソコン / 無線 LAN パソコンの TCP/IP の設定を確認します。
（「インターネット接続マニュアル」の「無線 LAN パソコンの設定」の「ネットワークの設定」を参照してください。）

↓

本製品とプロバイダ間の接続を確認します。
（「本製品とプロバイダ間の接続確認」(P56) を参照してください。）

↓

有線 LAN パソコン / 無線 LAN パソコンとプロバイダ間の接続を確認します。
（「有線 LAN パソコン / 無線 LAN パソコンとプロバイダ間の接続確認」(P57) を参照してください。）

本製品とプロバイダ間の接続確認

確認

次の手順に従って確認してください。

1 エアステーションの設定画面のメインメニューから「機器診断」→「pingテスト」を選択します。

2 「IP アドレス」にプロバイダの DNS の IP アドレス (例:202.247.1.254)を入力して、「実行」ボタンをクリックします。
正常に接続できている場合は、以下のように表示されます。
宛先 202.247.1.254

実行結果　1 回目 :10ms で応答がありました
　　　　　2 回目 :10ms で応答がありました
　　　　　3 回目 :10ms で応答がありました

接続できていない場合は、全て「タイムアウトしました」と表示されます。

対策

「タイムアウトしました」と表示されたときは、以下の事項を確認してください。

- ユーザ名およびパスワードを確認します。
- DNS の IP アドレスを確認します。
- 課金制限中かどうか確認します。（設定画面のメインメニューに表示されている「回線状態」欄に「課金制限中」と表示されていないか確認します。）

⚠注意　ユーザ ID とパスワードの入力の際は、大文字の I（アイ）と小文字の l（エル）と数字の１（イチ）、アルファベットの O（オー）と数字の 0（ゼロ）等の区別に気をつけてください。

有線 LAN パソコン / 無線 LAN パソコンとプロバイダ間の接続確認

確認

次の手順に従って確認してください。

1 「スタート」－「プログラム」－「MS-DOS プロンプト」を選択します。
(WindowsNT4.0をお使いの場合は､[ｽﾀｰﾄ]-[ﾌﾟﾛｸﾞﾗﾑ]-[ｺﾏﾝﾄﾞﾌﾟﾛﾝﾌﾟﾄ]を選択します｡)

2 「PING XXX.XXX.XXX.XXX」を入力して <Enter> キーを押します。

メモ 「XXX.XXX.XXX.XXX」は、プロバイダの DNS の IP アドレスを入力します。
正常に接続できている場合は、以下のように表示されます。(プロバイダの DNS の IP アドレスが、「202.247.1.254」の場合)

```
Pinging from 202.247.1.254 with 32 bytes of data:
Reply from 202.247.1.254 with 32:bytes=32 time=1ms TTL=32
Reply from 202.247.1.254 with 32:bytes=32 time<10ms TTL=32
Reply from 202.247.1.254 with 32:bytes=32 time=4ms TTL=32
Reply from 202.247.1.254 with 32:bytes=32 time<10ms TTL=32
```

接続できていない場合は、「Request timed out」「Destination host unreachable」などと表示されます。

対策

プロバイダの DNS の IP アドレスを確認します。

パソコンの IP アドレス.... 「インターネット接続マニュアル」内の「無線 LAN パソコンを設定する」の「ネットワークの設定」を参照してください。

本製品の IP アドレス..... 「アクセスポイントセットアップガイド」内の「第 4 章　設定」の「標準設定」を参照してください。

メモ Ping コマンドを実行して、正常に接続できていることが確認できたのに、ホームページが表示されないときは､ブラウザの設定がプロキシを使用しない設定になっているか確認してください。詳細は、ブラウザに添付のマニュアルを参照してください。

5 分おきに回線が接続される

原因

Windows98 の Windows Update で「Windows　重要な更新の通知」をインストールしている。

対策

「Windows　重要な更新の通知」がインストールされていると、5分おきに Microsoft の Windows Update のページへアクセスして異常課金となる恐れがあります。(一時的にアクセス間隔の変更やアクセスの停止をすることができますが、パソコンを再起動すると設定が初期値に戻ります。)
異常課金を防止するために、Windows98 のパソコンから以下の手順をおこなってください。

1. [スタート] － [設定] － [コントロールパネル] を選択します。
2. [コントロールパネル] 内の [アプリケーションの追加と削除] アイコンをダブルクリックします。
3. 「Microsoft Windows Critical Update Notification」を選択した後、[追加と削除] をクリックして削除します。

インターネットに接続できない。 または、 非常に反応が遅い

原因

有線−無線間でファイルコピーをおこなっていると、有線 LAN パソコンまたは無線 LAN パソコンからインターネットに接続できなかったり、反応が遅くなることがあります。

対策

有線−無線間のファイルコピーが終わると、インターネットに接続できるようになります。 接続できない場合は、しばらく時間をおいて、再度アクセスしてください。

⚠注意 インターネット接続中に通信ができなくなっても、自動切断時間までは電話回線に接続されたままです。自動切断時間を長く設定している時は、ご注意ください。

無線 LAN パソコンの通信時

エラーメッセージが表示される

無線 LAN パソコンで、クライアントマネージャを起動時に、無線 LAN カードが見つからない旨のエラーメッセージが表示される。

原因①

無線 LAN カードのドライバが正常にインストールされていない。

対策①

無線 LAN カードのマニュアルを参照して、ドライバが正常にインストールされているか確認してください。

原因②

ESS-ID 設定ドライバがインストールされていない。 (Windows2000,WindowsNT4.0)

対策②

ESS-ID 設定ドライバをインストールしてください。

▶参照 詳しくは、無線 LAN カードに添付のマニュアルを参照してください。

原因③

アドミニストレータの権限をもつユーザ (Administrator 等) でログインしていない。
(Windows2000,WindowsNT4.0)

対策③

アドミニストレータの権限をもつユーザ（Administrator 等）でログインしてください。

有線 LAN 上のパソコンと接続できません

原因①

無線 LAN カード (WLI-PCM-L11 等) のドライバのインストールに失敗している。

対策①

無線 LAN カードのドライバは、「AIRCONNECT シリーズドライバ CD」 内のドライバをインストールします。 すでに、ドライバディスク（フロッピーディスク版）からインストールして無線 LAN カードをお使いの方は、「第 2 章 こんなときは」 の「無線 LAN カードのドライバをバージョンアップする」(P39) を参照してください。

原因②

有線 LAN 上のパソコンのネットワークの設定がされていない。
(有線 LAN 同士のパソコンでもネットワークが接続されていない。)

対策②

有線 LAN 上のパソコンの LAN ボードに付属のマニュアルを参照して、有線 LAN 上のパソコンのネットワークの設定を行ってください。

原因③

ネットワークを検索して、 接続されているコンピュータが表示されるのに時間がかかっている。

対策③

以下の手順でコンピュータの検索をしてください。
① [スタート] - [検索] - [ほかのコンピュータ] を選択します。
②「名前」に、 接続先のコンピュータ名を入力して、 [検索開始] をクリックします。

③検索されたコンピュータのアイコンをダブルクリックして、 接続してください。

3
困ったときは

原因④
TCP/IP プロトコルがインストールされていない。または設定が正しくない。

対策④
無線LAN パソコン、有線LAN パソコンおよび本製品のIPアドレスの設定を以下の手順で確認してください。

無線 LAN パソコン / 有線 LAN パソコンでの IP アドレス確認手順

■ Windows98/95 の場合

1. [スタート] ー [ファイル名を指定して実行] で「WINIPCFG」と入力し、[OK] をクリックします。
2. お使いのネットワークアダプタを選択します。
   「IP アドレス」の値を確認してください。

IP アドレスの表示が正しくないときは、別冊「インターネット接続マニュアル」の「第 2 章　エアステーションの設定準備」の「TCP/IP プロトコルの設定」を参照してください。

■ Windows2000 の場合

TCP/IP プロトコルがインストールされている場合は、以下の手順で IP アドレスの確認ができます。

1. [スタート] ー [プログラム] ー [アクセサリ] ー [コマンド プロンプト] を選択します。
2. 画面に「C:\>」と表示されますので、「IPCONFIG /ALL」と入力して、<ENTER> キーを押します。
3. 「IP Address/Subnet Mask」欄に IP アドレスとサブネットマスクが表示されます。

```
Ethernet adapter ローカル エリア接続
IP address....................    :192.168.100.2
Subnet Mask...................    :255.255.255.0
Connection-specific DNS Suffix    :
Description...................    :MELCO WLI-PCM-L11 Wireless LAN
Physical Address..............    :00-60-1D-1F-36-23
DHCP Enabled..................    :No
Default Gateway...............    :
DNS Servers...................    :
```

IP アドレスの表示が正しくないときは、別冊「インターネット接続マニュアル」の「第 2 章　エアステーションの設定準備」の「TCP/IP プロトコルの設定」を参照してください。

■ WindowsNT4.0 の場合

1.[スタート]-[プログラム]-[コマンドプロンプト] を選択します。

2.「IPCONFIG」 と入力し、ENTER キーを押します。
「IP Address」 の値を確認してください。

```
Ethernet adapter wlipcm1
IP address          :192.168.100.188
Subnet Mask         :255.255.255.0
Default Gateway     :192.168.100.1
```

IP アドレスの表示が正しくないときは、別冊「インターネット接続マニュアル」の「第 2 章　エアステーションの設定準備」の「 TCP/IP プロトコルの設定」を参照してください。

原因⑤

Windows98/95 を起動したときにパスワードを入力していない。
(「ネットワークパスワード」の入力画面で [キャンセル] ボタンを押したり、<ESC> キーを押している。)

対策⑤

Windows98/95 を起動したときに表示される「ネットワークパスワード」の入力画面では、必ず入力して [OK] ボタンをクリックしてください。
万が一、パスワードを忘れてしまったときは、別のユーザー名を入力してください。ユーザー名とパスワードがコンピュータに登録されます。

原因⑥

有線 LAN 上のパソコンと無線 LAN パソコンのプロトコル設定が正しくない。

対策⑥

有線 LAN 上のパソコンと無線 LAN パソコンの TCP/IP プロトコル等のプロトコル設定を確認してください。

原因⑦

TCP/IP は組込まれているが、IP アドレスの設定が間違っている。

対策⑦

IP アドレスの設定が正しいか確認してください。

▶参照 「第３章 困ったときは」の「IPアドレスの割り振りかたがわからない」(P63) を参照してください。

3
困ったときは

クライントマネージャでエアステーション（本製品）との接続ができない（検索してもグレー表示される）

原因①
無線LANカードのドライバやTCP/IPプロトコルのインストールに失敗している。

対策①
無線LANカードのマニュアルを参照して、ドライバが正常にインストールされているか確認してください。
また、本製品のWirelessランプが点灯しているかどうか確認してください。

原因②
電波状態が悪いため、エアステーションと通信ができていない。

対策②
無線LANパソコンと本製品との距離を短くしたり、障害物をなくして見通しをよくしてから、再度接続してください。

本製品を使って拠点間接続をしたい

対策
製品の仕様上、2つの拠点間接続はできません。
本製品は、端末型ダイヤルアップネットワークサービスでのインターネット接続のみ可能です。

本製品の時計がずれることがある。（2 ～3 分／月：パソコンと同程度）

原因
本製品の時計がずれた状態で使用していると、「テレホーダイ設定」が正常に動作しません。
（「テレホーダイ設定」の出荷時設定は「無効」に設定されています。）

対策
本製品の時計を修正してください。

アドレス変換をおこなわないで、プロバイダ接続をしたい

対策
できません。インターネットへの接続時には、LAN側のIPアドレスは、WAN側のIPアドレスに自動的に変換されます。そのため、本製品を使用してインターネットサーバーなどを立ち上げることはできません。

IP アドレスの割り振りかたがわからない

以下を参考にして、IP アドレスを設定してください。

■ネットワーク上に DHCP サーバ※が存在する場合

IP アドレスの設定を以下のように設定します。
Windows98/95：「IP アドレスを自動的に取得」
WindowsNT4.0：「DHCP サーバーから IP アドレスを取得する」

メモ　エアステーションを「IP アドレスを自動的に取得」に設定すると、内蔵モデムを使用してインターネットに接続できません。インターネットに接続する場合は、エアステーションの IP アドレスを手動で設定してください。

■ネットワーク上のパソコンに IP アドレスが既に割り振られている場合

ネットワーク管理者にパソコンに設定する IP アドレスを確認してください。

■ネットワーク上のパソコンに IP アドレスが割り振られていない場合

パソコンおよびエアステーションの IP アドレスを以下のように設定します。
＜設定例＞

エアステーション：192.168.100.　1（255.255.255.0）
パソコン A　　　：192.168.100.　2（255.255.255.0）
パソコン B　　　：192.168.100.　3（255.255.255.0）
パソコン C　　　：192.168.100.　4（255.255.255.0）
　　・
パソコン X　　　：192.168.100.254（255.255.255.0）

※DHCP サーバは、ネットワーク上のパソコンやエアステーションに IP アドレスを自動的に割り振るサーバです。WindowsNT サーバやダイヤルアップルータなどの DHCP サーバ機能が内蔵された機器がネットワーク上に存在する場合、DHCP サーバ機能が動作している場合があります。WindowsNT サーバやダイヤルアップルータの DHCP サーバ機能が動作しているかどうかは、WindowsNT のマニュアルまたはダイヤルアップルータのマニュアルを参照するか、メーカにお問い合わせください。ネットワーク上に Windows98/95 のパソコンしかないときは、DHCP サーバは存在しません。

自己診断機能

エアステーションは、電源 ON 時または再起動時に、自己診断を実施します。

異常発生時には、DIAG ランプの点滅した回数により、エラー内容が特定できます。DIAG ランプの点滅は、電源 OFF 時または再起動時まで、繰り返しおこなわれます。

DIAG ランプ点滅時のエラー内容

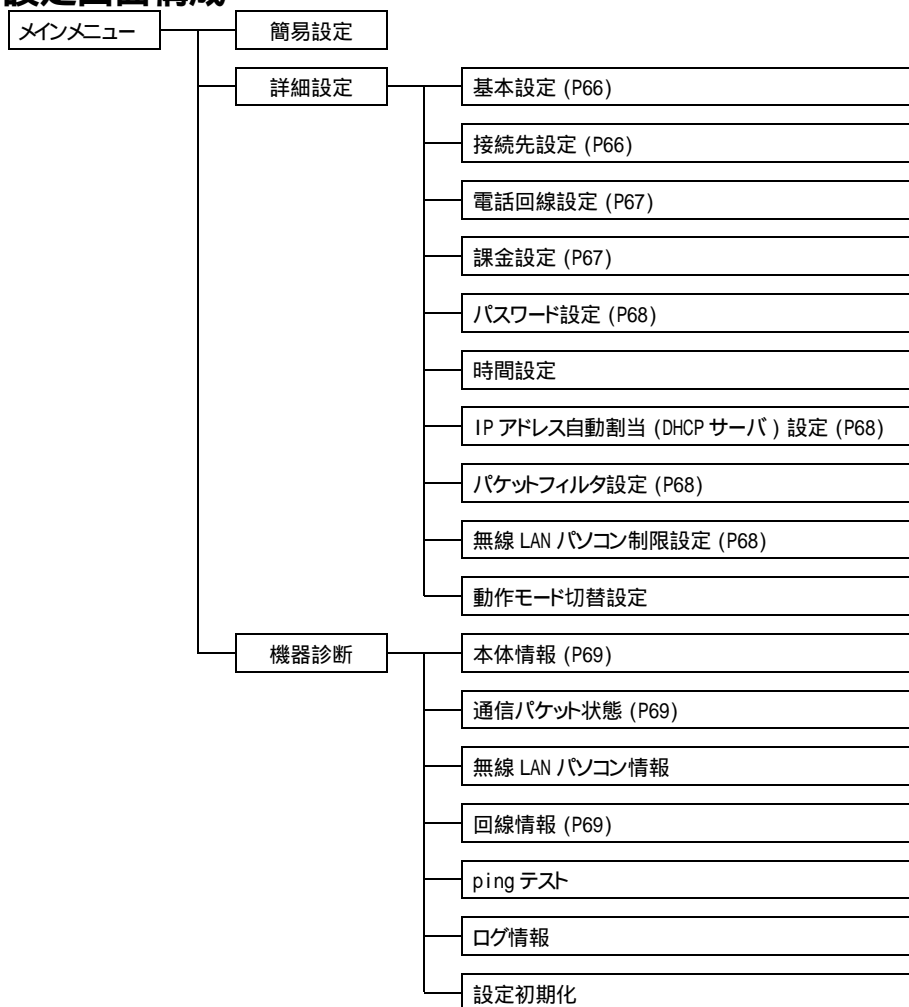
点滅回数	状態	説明
1 回	RAM チェック異常	内部メモリの読み書きができません。
2 回	ROM チェック異常	フラッシュ ROM の読み書きができません。
3 回	有線 LAN 異常	有線 LAN コントローラが故障しています。
4 回	無線 LAN 異常	無線 LAN コントローラが故障しています。
5 回	時計異常	時計の電池が切れている恐れがあります。
6 回	モデム異常	モデムが故障しています。
9 回	上記以外の異常	

上記のエラーが表示されたときは、一度、AC アダプタをコンセントから抜き差ししてください。
抜き差ししてもエラーが表示されるときは、弊社修理センター宛にエアステーションを直接お送りください。

5 設定画面一覧

設定画面の一覧と詳細について説明します。

ブリッジ＋ PPP 接続モード（内蔵モデムを使用してインターネット接続をする）

設定画面構成

設定画面説明

メモ
・※印のついた項目は、簡易設定画面で設定できる項目です。
・設定項目の詳細は、設定画面上のヘルプを参照してください。

詳細設定（ブリッジ+PPP 接続モード）

項目	説明	出荷時設定
基本設定		
エアステーション名※	エアステーション名称を設定します。注１	"AP"+MAC アドレスの下６桁
グループ名※	グループ名称を設定します。注２	GROUP
無線チャンネル	無線チャンネルを設定します。(1～14)	14
無線ローミング	無線ローミング機能の有効 / 無効を設定します。	使用しない
暗号（WEP）	暗号化をするためのキーワードを設定します。注３	設定なし
暗号確認	確認のためにキーワードを再入力します。注３	−
IP アドレス ネットマスク	エアステーションの IP アドレスを設定します。	−
接続先設定		
接続先名称※	接続先の名称を設定します。注 2	−
電話番号※	接続先の電話番号を市外局番から入力します。	−
ユーザ名※	接続先のユーザ名を設定します。注４	−
パスワード※	接続先のパスワードを設定します。注４	−
認証方式	接続先の認証方式を選択します。	相手に合わせる
DNS アドレス	DNS アドレスを手動で設定するときに、入力します。	−
自動接続	電話回線へのパケットを受信した際に、自動的に回線へ接続するか設定します。 メモ 「する」に設定すると他の接続先の自動接続は無効になります。	しない
自動切断の監視パケット	自動切断をするときに送信 / 受信 / 送信と受信のどのパケットを監視するか設定します。	送信のみ

項目	説明	出荷時設定
自動切断時間	インターネットへの通信がなくなってから何秒後に回線を切断するかを設定します。	150 秒
テレホーダイ	テレホーダイを利用するかどうかを設定します。	利用しない
テレホーダイ時の 自動切断時間	テレホーダイ時間での自動切断時間を設定します。	1500 秒
電話回線設定		
回線の種類※	電話回線の種類（トーン / パルス）を設定します。	トーン
PBX の有無※	構内交換機（PBX）を使用しているかどうかを設定します。（通常の家庭で使用する場合は、「使用しない」に設定してください）	使用しない
外線発信コマンド※	外線発信番号を設定します。 例：0 発信の場合は、「0」を入力します。	－
接続プロトコル	プロバイダへ接続する際の優先プロトコルを設定します。各設定での優先順位は以下の通りです。 V.90：V.90 → K56flex → V.34 K56flex：K56flex → V.90 → V.34	V.90 優先
WEB 画面で 強制回線切断	設定画面のトップページ上にある［回線切断］ボタンにパスワードを設定するか設定します。	パスワード不要
課金設定		
１日毎の課金制限	１日で使用できる通信料金の上限を設定します。	1500 円
１日毎の 課金リセット時間	１日毎の通信料金の計算をリセットする時間を設定します。	毎日 0:00
１ヶ月毎の課金制限	１ヶ月で使用できる通信料金の上限を設定します。	30,000 円
１ヶ月毎の 課金リセット日	１ヶ月毎の通信料金の計算をリセットする日を設定します。	毎月１日の 0:00
金額換算	通信料金の計算時に使用する換算値を入力します。10 円あたりの通信時間を入力します。	60 秒 /10 円
テレホーダイ時間	テレホーダイ時の自動切断時間を適用する時間を設定します。	23:00 〜 7:59

項目	説明	出荷時設定
パスワード設定		
管理ユーザ名	エアステーションの設定画面へログインする際のユーザ名です。	root（変更不可）
パスワード	エアステーションの設定画面へログインする際のパスワードを設定します。	なし
パスワード確認	確認のためにパスワードを再度入力します。	なし
IP アドレス自動割当 (DHCP サーバ) 設定		
IP アドレス 自動割当機能※	IP アドレスをエアステーションから自動的に割り当てるかどうか設定します。	使用する
割り当て IP アドレス※	無線 LAN パソコン / 有線 LAN パソコンへ割り当てる IP アドレスを設定します。	エアステーションの IP アドレスの次のアドレスから 16 台
リース期間	IP アドレスのリース時間（期間）を設定します。	48 時間
デフォルト ゲートウェイ	デフォルトゲートウェイを設定します。通常は、「エアステーションの IP アドレスを設定します。	エアステーションの IP アドレス
DNS サーバの通知	DNS サーバとして通知する IP アドレスを設定します。	エアステーションの IP アドレス
ドメイン名の通知	通知するドメイン名を設定します。	通知しない
パケットフィルタ設定		
簡易フィルタ	指定した簡易フィルタの有効 / 無効を指定します。	「NBT 名前解決パケットのルーティングを禁止する」および「ブラウザの終了時に回線接続するのを防ぐ」が有効
無線 LAN パソコン制限設定		
無線 LAN パソコンの 接続	指定した無線 LAN パソコン以外からエアステーションに接続できないようにします。	制限しない

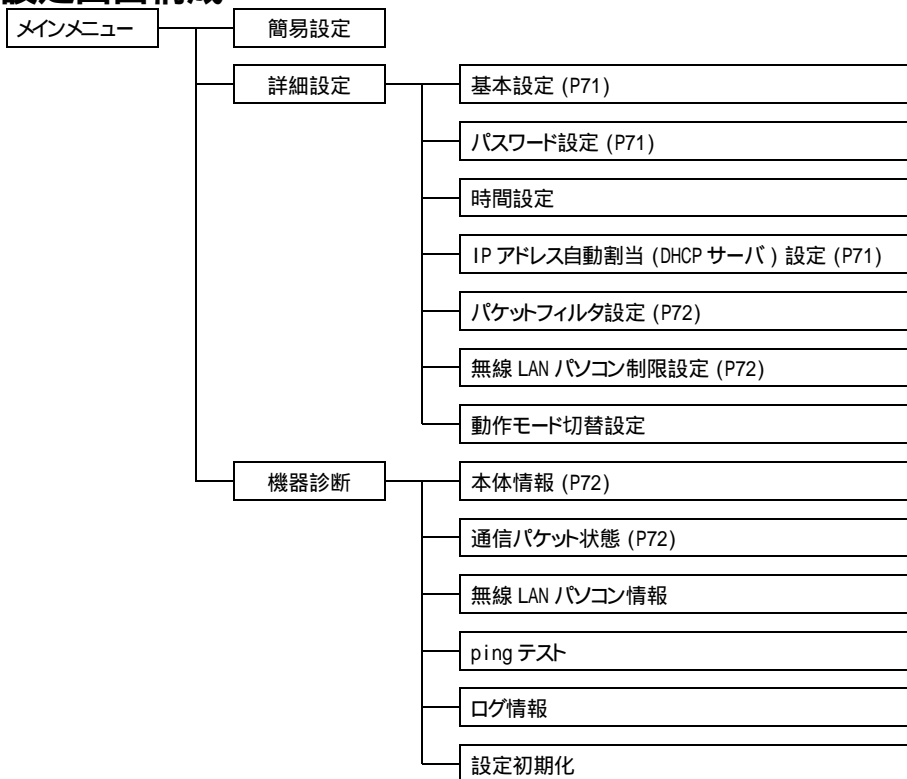
注１：半角英数字（大文字 / 小文字の区別あり）およびアンダーバー "_" が、32 文字まで入力可能です。
注２：半角英数字（大文字 / 小文字の区別あり）およびアンダーバー "_" が、16 文字まで入力可能です。
注３：半角英数字（大文字 / 小文字の区別あり）およびアンダーバー "_" が、5 文字まで入力可能です。
注４：半角英数字（大文字 / 小文字の区別あり）および記号が、64 文字まで入力可能です。

機器診断（ブリッジ +PPP 接続モード）

項目	説明
本体情報	
製品名	エアステーションの製品名を表示します。
エアステーション名	エアステーション名を表示します。
無線部ファームウェア	無線部のファームウェアの名称とバージョンを表示します。
グループ名	グループ名を表示します。
有線側 MAC アドレス	エアステーションの有線側の MAC アドレスを表示します。
無線側 MAC アドレス	エアステーションの無線側の MAC アドレスを表示します。
ESS-ID	ESS-ID を表示します。
無線ローミング機能	無線ローミング機能の有効 / 無効を表示します。
無線チャンネル	無線チャンネルを表示します。
動作モード	エアステーションの動作モードを表示します。
インターネット接続先	接続先のプロバイダを表示します。
IP 自動割当機能	IP 自動割当機能を使用する / 使用しないかを表示します。
IP アドレス	エアステーションの IP アドレスを表示します。
ネットマスク	
通信パケット状態	
送信パケット数	送信したパケット数を表示します。
送信エラーパケット数	送信エラーとなったパケット数を表示します。
受信パケット数	受信したパケット数を表示します。
受信エラーパケット数	受信エラーとなったパケット数を表示します。
回線情報	
接続先番号	接続先のリスト番号（１～５）を表示します。
接続先名称	接続先名称（プロバイダ等）を表示します。
電話番号	接続先（プロバイダ等）の電話番号を表示します。
回線状態	回線状態を表示します。
割当 IP アドレス	接続先より割り当てられた IP アドレスを表示します。
割当 DNS アドレス	接続先より割り当てられた DNS アドレスを表示します。
今日の通信料金	今日使用した通信料金を概算で表示します。
今月の通信料金	今月使用した通話料金を概算で表示します。

ブリッジモード
（有線 LAN －無線 LAN 間で通信をおこなう）

設定画面構成

- メインメニュー
  - 簡易設定
  - 詳細設定
    - 基本設定（P71）
    - パスワード設定（P71）
    - 時間設定
    - IP アドレス自動割当（DHCP サーバ）設定（P71）
    - パケットフィルタ設定（P72）
    - 無線 LAN パソコン制限設定（P72）
    - 動作モード切替設定
  - 機器診断
    - 本体情報（P72）
    - 通信パケット状態（P72）
    - 無線 LAN パソコン情報
    - ping テスト
    - ログ情報
    - 設定初期化

設定画面説明

メモ
・※印のついた項目は、簡易設定画面で設定できる項目です。
・設定項目の詳細は、設定画面上のヘルプを参照してください。

詳細設定（ブリッジモード）

項目	説明	出荷時設定
基本設定		
エアステーション名※	エアステーション名称を設定します。注１	"AP"+MAC アドレスの下６桁
グループ名※	グループ名称を設定します。注２	GROUP
無線チャンネル	無線チャンネルを設定します。(1～14)	14
無線ローミング	無線ローミング機能の有効 / 無効を設定します。	使用しない
暗号（WEP）	暗号化をするためのキーワードを設定します。注３	設定なし
暗号確認	確認のためにキーワードを再入力します。注３	−
IP アドレス ネットマスク	エアステーションの IP アドレスを設定します。	−
パスワード設定		
管理ユーザ名	エアステーションの設定画面へログインする際のユーザ名です。	root（変更不可）
パスワード	エアステーションの設定画面へログインする際のパスワードを設定します。	なし
パスワード確認	確認のためにパスワードを再度入力します。	なし
IP アドレス自動割当 (DHCP サーバ) 設定		
IP アドレス自動割当機能※	IP アドレスをエアステーションから自動的に割り当てるかどうか設定します。	使用する
割り当て IP アドレス※	無線 LAN パソコン / 有線 LAN パソコンへ割り当てる IP アドレスを設定します。	エアステーションの IP アドレスの次のアドレスから 16 台
リース期間	IP アドレスのリース時間（期間）を設定します。	48 時間
デフォルトゲートウェイ	デフォルトゲートウェイを設定します。通常は、エアステーションの IP アドレスを設定します。	エアステーションのIPアドレス
DNS サーバの通知	DNS サーバとして通知する IP アドレスを設定します。	エアステーションのIPアドレス

項目	説明	出荷時設定
ドメイン名の通知	通知するドメイン名を設定します。	通知しない
パケットフィルタ設定		
簡易フィルタ	指定した簡易フィルタの有効/無効を指定します。	「NBT 名前解決パケットのルーティングを禁止する」および「ブラウザの終了時に回線接続するのを防ぐ」が有効
無線 LAN パソコン制限設定		
無線 LAN パソコンの接続	指定した無線 LAN パソコン以外からエアステーションに接続できないようにします。	制限しない

注 1：半角英数字（大文字 / 小文字の区別あり）およびアンダーバー "_" が、32 文字まで入力可能です。
注 2：半角英数字（大文字 / 小文字の区別あり）およびアンダーバー "_" が、16 文字まで入力可能です。
注 3：半角英数字（大文字 / 小文字の区別あり）およびアンダーバー "_" が、5 文字まで入力可能です。

機器診断

項目	説明
本体情報	
製品名	エアステーションの製品名を表示します。
エアステーション名	エアステーション名を表示します。
無線部ファームウェア	無線部のファームウェアの名称とバージョンを表示します。
グループ名	グループ名を表示します。
有線側 MAC アドレス	エアステーションの有線側の MAC アドレスを表示します。
無線側 MAC アドレス	エアステーションの無線側の MAC アドレスを表示します。
ESS-ID	ESS-ID を表示します。
無線ローミング機能	無線ローミング機能の有効 / 無効を表示します。
無線チャンネル	無線チャンネルを表示します。
動作モード	エアステーションの動作モードを表示します。
IP 自動割当機能	IP 自動割当機能を使用する / 使用しないかを表示します。
IP アドレス	エアステーションの IP アドレスを表示します。
ネットマスク	
通信パケット状態	
送信パケット数	送信したパケット数を表示します。
送信エラーパケット数	送信エラーとなったパケット数を表示します。
受信パケット数	受信したパケット数を表示します。
受信エラーパケット数	受信エラーとなったパケット数を表示します。

6 用語集

本書で使われている用語の内、ネットワークを構成する上で必要となる用語について説明します。

■無線チャンネル

ESS-ID の異なる無線 LAN ネットワークが１つのフロアにいくつかあるとき、他の無線 LAN ネットワークで通信していると、通信速度が遅くなることがあります。これは、同じ周波数の電波を使用しているためです。この場合は、それぞれの無線 LAN ネットワーク毎に使用する電波の周波数（無線チャンネル）を設定することで、他の無線 LAN ネットワークに関係なく通信することができます。
※無線 LAN で通信する場合は、必ず無線チャンネルを同一の設定にする必要があります。

■ DHCP サーバ

TCP/IP でネットワークを構築するときは、必ず各パソコン等の機器に IP アドレスを設定する必要があります。DHCP サーバがネットワーク上に存在すると、ネットワーク上のパソコンやエアステーションに IP アドレスを自動的に割り振ることができます。Windows2000/NT サーバやダイヤルアップルータなどの DHCP サーバ機能が内蔵された機器がネットワーク上に存在する場合、DHCP サーバ機能が動作している場合があります。WindowsNT サーバやダイヤルアップルータの DHCP サーバ機能が動作しているかどうかは、Windows2000/NT のマニュアルまたはダイヤルアップルータのマニュアルを参照するか、メーカにお問い合わせください。ネットワーク上に Windows98/95 のパソコンしかないときは、DHCP サーバは存在しません。

■ ESS-ID

無線 LAN パソコンとエアステーションの通信時に混線しないための ID です。
エアステーションと同一の ESS-ID を設定した無線 LAN パソコンが、エアステーションと通信できます。（ESS-ID は、無線 LAN パソコン同士の通信をおこなうときは無効です。）
エアステーションの ESS-ID は、「MAC アドレスの下 6 桁」+「グループ名」が設定されます。
ESS-IDは、大文字・小文字の区別があり、半角英数字およびアンダーバー ”_ ”が32文字まで入力できます。

■ LAN(Local Area Network)

「ラン」と発音する。１つの建物の中やキャンパスの敷地内など比較的狭い地域でのネットワークです。
10Mbps ～ 100Mbps の伝送速度が一般的です。

■ MAC アドレス (Media Access Control Address)

ネットワークカードごとの固有の物理アドレスです。
MAC アドレスは、先頭からの 3bytes のベンダコードと残り 3bytes のユーザコードの 6bytes で構成されます。ベンダコードは、IEEE が管理 / 割り当てを行っており、ユーザコードは、ネットワークカードの製造メーカが独自の番号 (重複はしない) で管理を行っています。つまり、MAC アドレスは、世界中で単一の物理アドレスが割り当てられています。Ethernet ではこのアドレスを元にしてフレームの送受信を行っています。

■ TCP/IP(Transmission Control Protocol/Internet Protocol)

OSI 参照モデルのネットワーク層とトランスポート層に相当するプロトコルで、RFC によって定義されている。そのため、TCP/IP を実行していれば異なる端末間で互いに通信することができます。
●通常は、TELNET や FTP といったアプリケーションプロトコルも含まれます。
●インターネット標準のプロトコルです。

■ WEP（暗号化）

エアステーションに暗号キーを設定することにより、外部からの無線パケット解析を防ぐことができます。暗号キーを設定したエアステーションと通信をする場合は、クライアントマネージャ上から設定された暗号キーを入力する必要があります。

■ Windows98/95 のユーザー名とパスワード

ドライバのインストールが完了し、パソコンを再起動すると、『ﾈｯﾄﾜｰｸﾊﾟｽﾜｰﾄﾞの入力』ダイアログボックスが表示されます。

●ネットワークを使用するときは、ユーザー名とパスワードを入力してください。ただし、ネットワークを使用しないときは入力する必要はありません。

●ユーザー名とパスワードは、Windows98/95 をセットアップする過程で設定しています。初めてログインするときは、セットアップ時のユーザー名とパスワードを入力してください。

●マルチユーザーで複数の環境を切り替えてパソコンを使用できるようになっています。よって、新たにユーザー名とパスワードを入力することにより、ログインできます。

■ Windows98/95 の共有設定画面

共有したいドライブのアイコンをマウスの右ボタンでクリックし、メニューから「共有」を選択すると、次の画面が表示されます。

画面内の説明は、次の通りです。

共有しない　：ドライブの共有を解除するときに選択します。

共有する　：ドライブを共有するときに選択します。

共有名　：共有するドライブの名称を変更できます。

アクセスの種類　：共有するドライブに対しての読み書きを許可します。

読み取り専用　：共有するドライブを読み込み専用にします。

フルアクセス　：共有するドライブに読み書きを許可します。

パスワードで区別：パスワードにより、読み書きを許可します。

パスワード　：「アクセスの種類」に対するパスワードです。

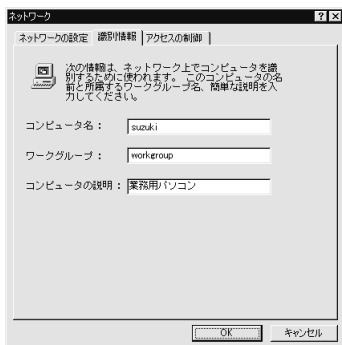
読み取り専用　：読み取りを許可するときのパスワードを設定します。

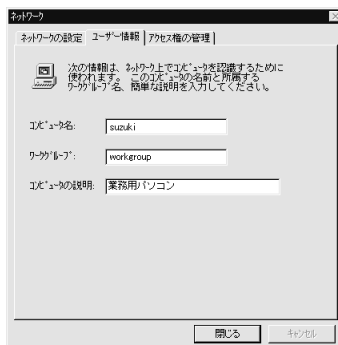
フルアクセス用　：読み書きを許可するときのパスワードを設定します。

■ Windows98 の識別情報（Windows95 の場合はユーザー情報）画面

表示される画面

Windows98 の場合

「ネットワーク」アイコンをダブルクリックして、「識別情報」タブをクリックすると、次の画面が表示されます。

Windows95 の場合

「ネットワーク」アイコンをダブルクリックして、「ユーザー情報」タブをクリックすると、次の画面が表示されます。

画面内の説明

画面内の説明は、次の通りです。

コンピュータ名　：ネットワーク上で、コンピュータを識別するための名称です。各パソコン毎に固有の名称を設定します。

ワークグループ　：ネットワーク上で、区分けをするための名称です。特に分ける必要がなければ、ネットワーク内のパソコンは、全て同一の名称にしてください。

コンピュータの説明：「コンピュータ名」の補足説明です。特に入力しなくても構いません。

メモ　[コンピュータ名]、[ワークグループ] には、半角英数字を入力することを推奨します。

注意　一部の漢字やピリオド（.）などの特殊文字が含まれているとネットワークに接続できない場合があります。

■ファームウェア

ルータ / モデム /TA などのハードウェアに組み込まれているソフトウェア（プログラム）のことです。
ハードウェアに組み込まれているソフトウェアなので、ハードウェアとソフトウェアの中間的なものといえます。

■プロトコル

ネットワーク端末間でデータの受け渡しを行うための手順や規則です。例えば、2 つのコンピュータが通信を行う場合に、どちらが先にどのようなメッセージを送信するか、また、そのメッセージを受けてどのようなメッセージを返すか、データの形式はどうなっているか、通信エラーの対応など、通信を行う上で必要な条件をすべて手順化しておくことで、規則正しい情報の伝達を行うことができます。

■ローミング機能

ローミング機能を使用すると、部屋から部屋への移動の際、エアステーションの接続設定をする手間なく、自動的にエアステーションを切り換えることができます。
オフィスから会議室への移動など、アクセスしながらの場所移動も気軽におこなえるようになります。

7 製品仕様

エアステーションの仕様と LAN ポートコネクタ仕様、LINE/PHONE コネクタ仕様について説明します。

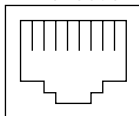
仕様

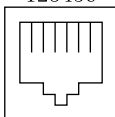
無線 LAN インターフェース部	準拠規格	IEEE802.11b（無線 LAN 標準プロトコル）
		RCR STD-33、ARIB STD-T66（小電力データ通信システム規格）
	伝送方式	DS-SS 方式単信（半二重）
	データ伝送速度	1/2/5.5/11Mbps（オートセンス）
	アクセス方式	インフラストラクチャモード
	周波数範囲 （中心周波数）	2412 ～ 2484MHz ※携帯電話、コードレスホン、テレビ、ラジオ等とは混信しません
	伝送距離 （周囲条件による）	11Mbps 時　屋内 25m 屋外 50m 5.5Mbps 時　屋内 35m 屋外 70m 2Mbps 時　屋内 40m 屋外 90m 1Mbps 時　屋内 50m 屋外 115m
	アンテナ	ダイバシティ方式（内蔵）
有線 LAN インターフェース部	準拠規格	IEEE802.3（10BASE-T） IEEE802.3u（100BASE-TX）
	データ転送速度	10Mbps/100Mbps（自動認識のみ）
	データ伝送モード	半二重 / 全二重（手動設定）
モデムポート部	準拠規格	V.90/K56flex
	データ転送速度	56Kbps
消費電力/消費電流	9.5W（最大)/0.15A（最大）	
重量	540g	
外形寸法	76(W) × 170(H) × 205(D)mm	

メモ　最新の製品情報や対応機種については、カタログまたはインターネットホームページ(http://www.melcoinc.co.jp/) を参照してください。

LAN ポートコネクタ仕様

ISO/IEC8877:1992 で規定された RJ-45 型 8 極コネクタを使用しています。

■ MDI 信号の割り当て

ピン番号	MDI 信号	信号機能
1	TD+	送信データ（+）
2	TD-	送信データ（-）
3	RD+	受信データ（+）
4	(Not Use)	未使用
5	(Not Use)	未使用
6	RD-	受信データ（-）
7	(Not Use)	未使用
8	(Not Use)	未使用

LINE/PHONE ポートコネクタ仕様

ピン番号	MDI 信号	信号機能
1	(Not Use)	未使用
2	(Not Use)	未使用
3	Line1	ライン 1
4	Line2	ライン 2
5	(Not Use)	未使用
6	(Not Use)	未使用

■保証書について

本製品付属の保証書には保証期間と保証規定が記載されています。内容をお確かめになり、大切に保管してください。

■ユーザー登録について

ユーザー登録はがきに必要事項を記入して郵送して頂ければ、弊社製品のユーザーとしてご登録いたします。

※本製品に対するサポートやバージョンアップなどのサービスは、ユーザー登録されている方でなければ受けられません。

※ユーザー登録後に製品を譲渡した場合でも、ユーザー登録は変更できません。

■修理について

故障と思われる症状が発生したときは、まずマニュアルを参照して設定や接続が正しいか確認してください。改善されない場合は、次の事項をお調べになった資料と保証書の原本を添付し、弊社修理センター宛に製品を直接お送りください。

※ご依頼いただいた修理品以外に関するお問い合わせは、承っておりません。

※宅配便など、送付の控えが残る方法でお送りください。郵送は固くお断りいたします。

※送料は送り主様のご負担とさせていただきます。なお、輸送中の事故に関しては、弊社はいかなる責任も負いかねますので、あらかじめご了承ください。

※修理にお送りいただく際に、弊社への事前連絡は不要です。

※ハードディスクをお送りいただいた場合、そのハードディスクはフォーマットいたします。必要なデータは事前にバックアップを作成しておいてください。

※修理期間は、製品の到着後7日程度（弊社営業日数）を予定しております。

製品送付先：　〒456-0023　名古屋市熱田区六野二丁目1-3 中京倉庫内33号6階
株式会社メルコ　修理センター宛
TEL:052-889-2104

チェック項目：

①返送先
[氏名 / 住所 / 電話番号 (内線)/FAX 番号]

②平日昼間の連絡先
[氏名 / 住所 / 電話番号 (内線)/FAX 番号]

③修理対象のメルコ製品名

④弊社製品ハードウェア シリアルナンバー

⑤弊社製品ソフトウェア シリアルナンバー

⑥具体的な症状 / エラーメッセージ

⑦発生状況
[始めから / ある日突然 / 環境を変えたら]

⑧発生頻度
[必ず / 頻繁 / 時々 / 時間が経つと、他]

⑨コンピュータ
[本体メーカ名 / 型番 / シリアルナンバー]

⑩ハードディスク
[メーカ名 / 型番 / シリアルナンバー]

⑪プリンタ
[メーカ名 / 型番 / シリアルナンバー]

⑫その他周辺機器
[メーカ名 / 型番 / シリアルナンバー]

⑬ OS(オペレーティング・システム)
[ソフト名 / メーカ名 / バージョン]

⑭アプリケーション／バージョン
[症状に依存性のある場合は詳細も]

⑮製品以外の添付品
[付属ソフトなど]

WLAR-L11-M リファレンスマニュアル
2000年4月20日 初版発行
発行 株式会社メルコ

弊社製品の情報は次の方法で入手できます

http://www.melcoinc.co.jp/

（ミラーサーバ　http://www.melcoinc.com/）

MELCO Station ＜GO SMELCO＞

@nifty

インフォメーションセンター

〒457-8520　名古屋市南区柴田本通4-15　株式会社メルコ ハイテクセンター内

本製品のサポートは下記で承っております。

ネットワーク製品専用ダイヤル

＜東　京＞　03-5350-7870

＜名古屋＞　052-619-1825

月～金 9:30 ～ 12:00/13:00 ～ 17:00 ※祝日を除く

※ 事前にメモとペンを用意し、次の事項を確認しておいてください。
- ・コンピュータ名と使用OS
- ・本製品の製品名とシリアルナンバー
- ・設定内容（スイッチ設定など）
- ・現象（具体的なエラーメッセージなど）

メルコパソコン教室

「DOS/V パソコン組み立て体験教室」などを主催する株式会社メルコテクノスクールでは、ネットワーク関連の各種研修も実施しております。 出張社員研修なども実施しておりますので、お気軽にご相談ください。

- ・インターネット接続設定教室
- ・小規模 LAN 構築実践体験教室
- ・LAN ケーブリング実践体験教室
- ・LAN/WAN 構築実践体験教室
- ・光ファイバケーブリング実践体験教室

このほかにも、随時新規カリキュラムを開講中です。お申し込み、お問い合わせは、以下へお願いします。

TEL: 052-251-7911　　FAX: 052-249-2460

パソコン教室に関する最新情報は、次の方法でも入手することができます。

・インターネット ....http://www.melcoinc.co.jp/
(ミラーサーバ　http://www.melcoinc.com/)

・@nifty ....MELCO Station　<GO SMELCO>